

# 令和6年度 御用聞き便 報告書

令和6年7月

- 1 目的 : 市内企業の声を集め、よりニーズにあった施策を行うための情報を収集する
- 2 方法 : 御用聞きシートを郵送し、FAXにて回答を受ける（記名式）
- 3 発送日 : 令和6年5月29日（木）
- 4 送付先 : 917 社 ※未着を除いた実数
- 5 集計日 : 令和6年7月9日（火）
- 6 回答数 : 114 社（回答率： 12.4% ）※令和5年度106社(11.3%)
- 7 訪問等数 : 28 件 ※訪問、電話等で御用聞きを実施した数

## 【企業規模別】

企業規模	大企業	9社
	中小企業	105社
	うち小規模企業	46社
計		114社

※ 企業規模の区分は、次のとおり。

(1) 大企業 (2) 中小企業の基準を超える企業

(2) 中小企業

ア 製造業、その他の業種：資本金等3億円以下又は常時使用する従業員の数300人以下

イ 卸売業：資本金等1億円以下又は常時使用する従業員の数100人以下

ウ 小売業：資本金等5000万円以下又は常時使用する従業員の数50人以下

エ サービス業：資本金等5000万円以下又は常時使用する従業員の数100人以下

(3) 小規模企業

ア 製造業、その他の業種：常時使用する従業員の数20人以下

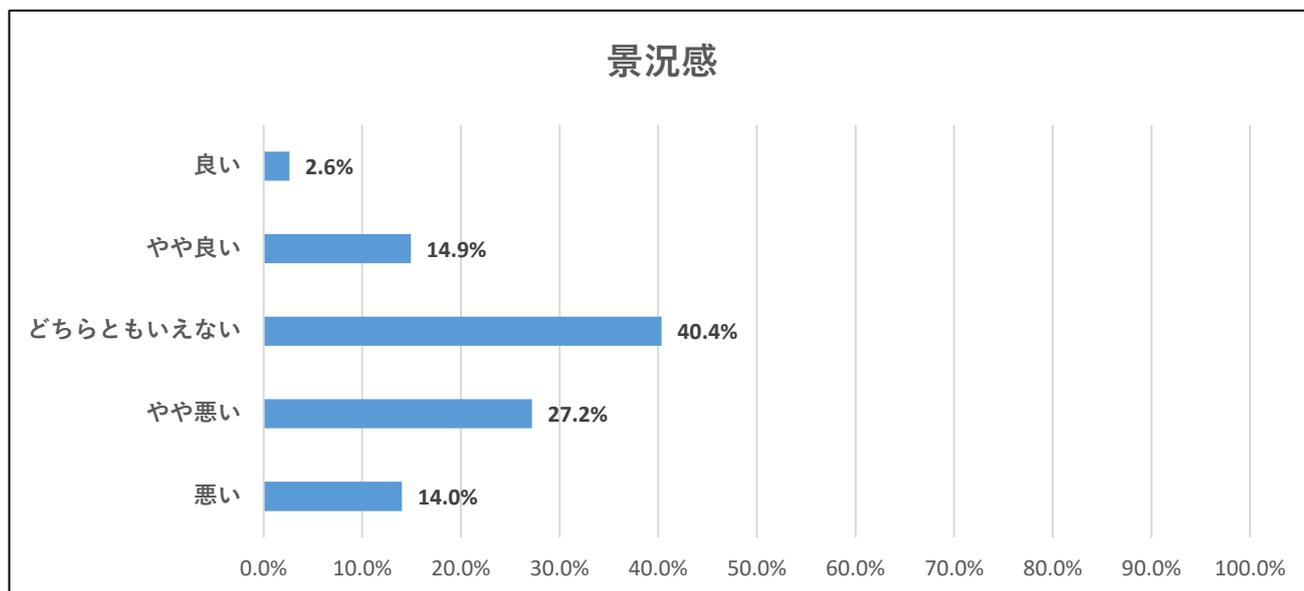
イ 卸売業、小売業、サービス業：常時使用する従業員の数5人以下

## 【業種別】

		全体	(内訳)		
			大企業	中小企業	うち小規模
業種	製造業	36	4	32	12
	運輸業	8	1	7	3
	建設業	34	0	34	22
	卸売業	6	0	6	0
	小売業	12	3	9	3
	サービス業	12	0	12	2
	その他	6	1	5	4
計		114	9	105	46

## Q1 (1) 景況感について

選択肢	回答数	割合 (/n)
良い	3	2.6%
やや良い	17	14.9%
どちらともいえない	46	40.4%
やや悪い	31	27.2%
悪い	16	14.0%
計	113	
全体の回答者数 (n)	114	

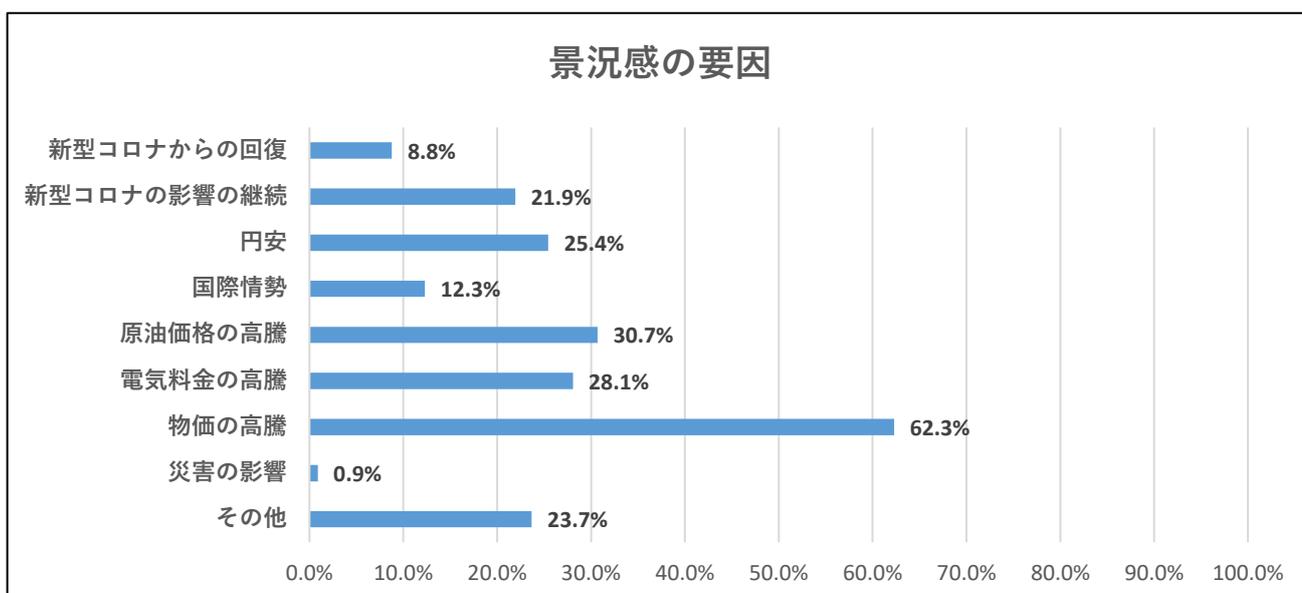


「悪い」「やや悪い」を合わせると41.2% (37.7%) であり、「良い」「やや良い」を合わせた17.5% (21.7%) を上回っている。  
前年度と比較すると数値はやや悪化しており、市内企業の景況感は依然として悪い状況であると言える。

※ ( ) 内は前回調査 (R5.8) の値、以下同様

## Q 1 (2) 景況感の要因

選択肢【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
新型コロナからの回復	10	8.8%
新型コロナの影響の継続	25	21.9%
円安	29	25.4%
国際情勢	14	12.3%
原油価格の高騰	35	30.7%
電気料金の高騰	32	28.1%
物価の高騰	71	62.3%
災害の影響	1	0.9%
その他	27	23.7%
計	244	
全体の回答者数 (n)	114	

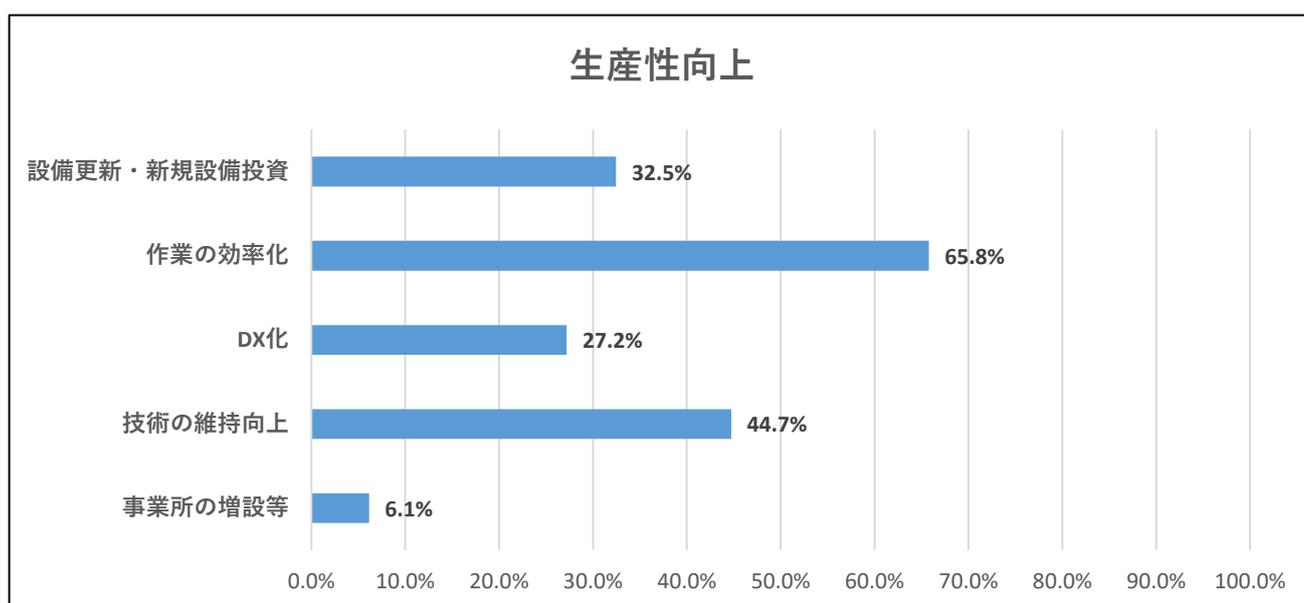


「物価の高騰」が62.3% (50.0%)、「原油価格の高騰」が30.7% (29.2%) となっており、景況感の悪化を招いている。  
また、「新型コロナの影響の継続」が21.9% (26.4%) と、前回調査からやや改善している。

## Q2 今後取り組みたいことについて

### (1) 生産性向上

選択肢【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
設備更新・新規設備投資	37	32.5%
作業の効率化	75	65.8%
DX化	31	27.2%
技術の維持向上	51	44.7%
事業所の増設等	7	6.1%
計	201	
全体の回答者数 (n)	114	

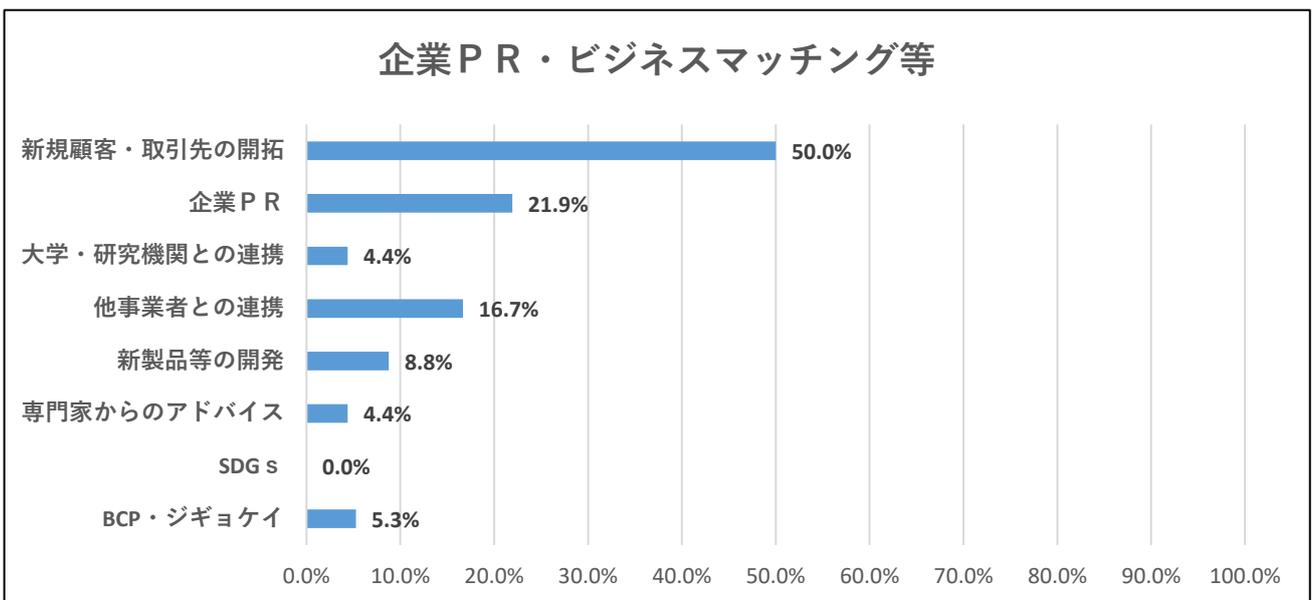


「作業の効率化」65.8% (60.4%)、「技術の維持向上」44.7% (44.3%)、「設備更新・新規設備投資」32.5% (40.6%)の順であるが、いずれも回答数が多く、生産性向上への関心の高さがうかがえる。

業種別に見ると、「作業の効率化」は全業種で割合が高かったものの、「設備更新・新規設備投資」は「製造業」「サービス業」「その他」の割合が、「技術の維持向上」は「製造業」「建設業」の割合がそれぞれ高く、業種によって差があった。

## (2) 企業PR・ビジネスマッチング等

選択肢【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
新規顧客・取引先の開拓	57	50.0%
企業PR	25	21.9%
大学・研究機関との連携	5	4.4%
他事業者との連携	19	16.7%
新製品等の開発	10	8.8%
専門家からのアドバイス	5	4.4%
SDGs	0	0.0%
BCP・ジギョケイ	6	5.3%
計	127	
全体の回答者数 (n)	114	

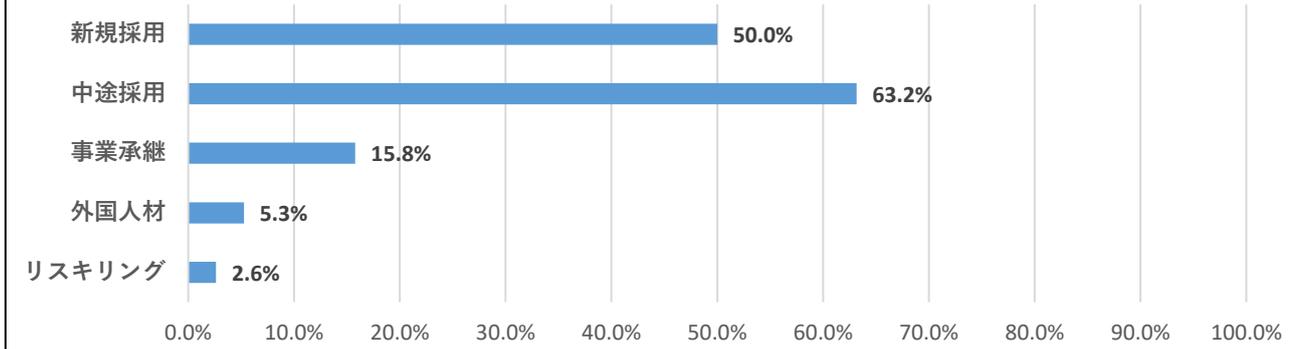


「新規顧客・取引先の開拓」が50.0% (54.7%) と最多となっている。特に規模別では「中小企業」が50.5%と「大企業」の44.4%に比べ回答率が高く、中小企業のビジネスマッチングへの関心の高さがうかがえる。

## (3) 人材確保

選択肢【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
新規採用	57	50.0%
中途採用	72	63.2%
事業承継	18	15.8%
外国人材	6	5.3%
リスクリング	3	2.6%
計	156	
全体の回答者数 (n)	114	

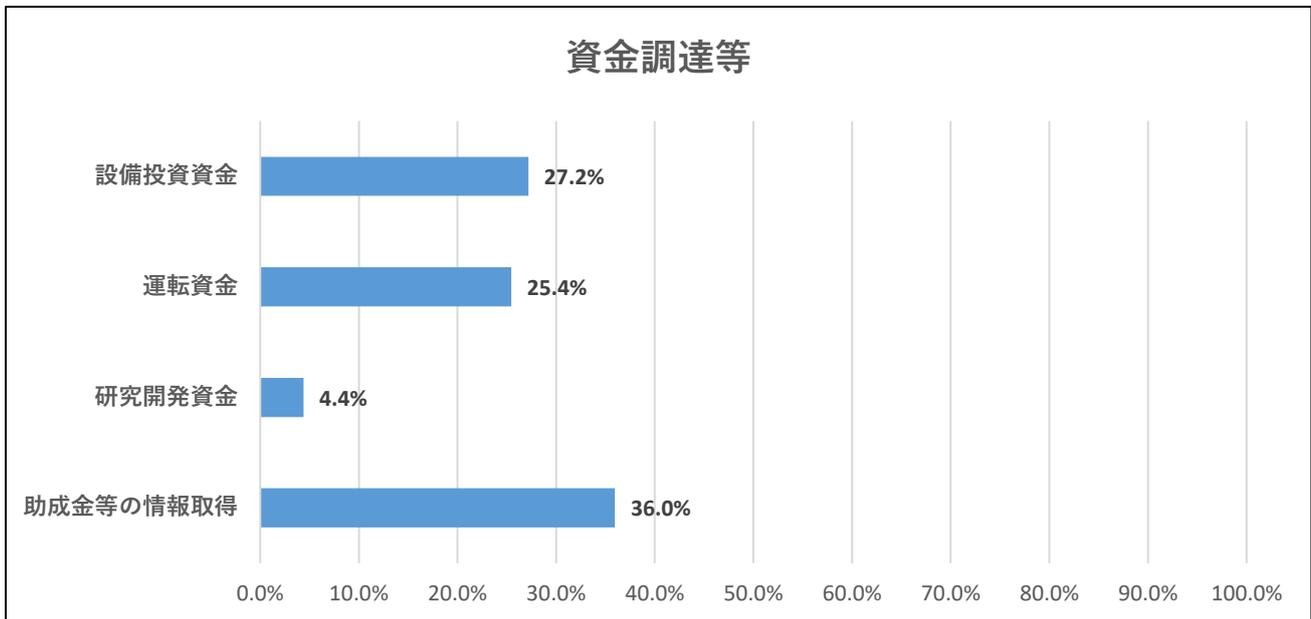
## 人材確保



「新規採用」が50.0% (50.0%)、「中途採用」が63.2% (58.5%)と多くの企業が回答しており、人材確保が課題となっていることがうかがえる。特に、規模別では「新規採用」は「大企業」が66.7%、「中小企業」が48.6%、「中途採用」は「大企業」が66.7%、「中小企業」が62.9%と高く、企業規模に関わらず、人材確保が課題となっていることがうかがえる。

#### (4) 資金調達等

選択肢 【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
設備投資資金	31	27.2%
運転資金	29	25.4%
研究開発資金	5	4.4%
助成金等の情報取得	41	36.0%
計	106	
全体の回答者数 (n)	114	



「助成金等の情報取得」が36.0% (29.2%) と最多となっている。  
また、業種別にみると「助成金等の情報取得」と「運転資金」の「卸売業」が多かった。